

「臨床検査技術」の研修で来日のアジア、アフリカ、中東の 臨床検査技師ら7名

11月13日から17日まで東洋公衆衛生学院で実習

JICA課題別研修「臨床検査技術―新興・再興感染症にも対応できる臨床微生物学」は、公益財団法人 国際医療技術財団の運営支援を得て、今年度は10月9日から12月13日まで行っています。

現在では日常を取り戻しつつありますが、2020年1月に世界保健機関が新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の世界的な流行状況に関し、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言して以降、全世界で感染が拡大している状況が続いていました。

COVID-19対策に限らず、世界的レベルで新興・再興感染症への予防対策を今後も実施していく上で、国際的な医療情報ネットワークを構築し、信頼できる臨床検査技術の果たす役割は益々重要となっています。

このような背景から、日本の医療水準の向上に重要な役割を果たしてきた精度の高い臨床検査技術を学ぶため、開発途上国から現在7名の臨床検査技師がJICAの研修員として来日しています。

研修員は来日以来JICA東京センターで日本の標準的な臨床検査技術のうち微生物検査に関する知識を学んでいますが、当該分野の知識・技術両面での習得を目指して11月13日から17日までの間、アジア、アフリカ、中東からの臨床検査技師ら7名が渋谷区本町にある学校法人東洋公衆衛生学院で教育訓練教材作成のための実習を行います。

東洋公衆衛生学院は、1966年創立の臨床検査技師養成施設であり、JICA東京センターから徒歩圏内です。ここで、感染症の診断に必須な微生物検査の根幹であるグラム染色、細菌の同定検査、および抗菌薬耐性の検査技術を実習します。

この実習によって、自身の微生物検査技術をブラッシュアップし、さらに帰国後に活用できる教育訓練用の教材を成果物として作成します。

＜取材可能な日程＞		
11月13日（月） ～11月17日（金）	11:00～12:00 13:30～15:00	微生物学的検査技術実習および教育訓練教材作成

【取材申込先】

独立行政法人国際協力機構
東京センター人間開発・計画調整課

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
東京センター
2023年11月6日

中野

TEL: 03-3485-7079

E-mail: Nakano.Tsutomu@jica.go.jp

【取材申込締切日】

11月10日（金）17時まで